われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

岡山県戦没者遺族代表者大会

地元選出の各党国会議員を招き
国民の安寧と誇りある祖国復活を求める

戦没者慰霊追悼の中心である靖國神社への総理・閣僚等の参拝を求めると共に、国立の戦没者追悼施設建設構想の阻止、更には来年度政府予算に対する遺族処遇改善要望事項の完全実現を図るため、日本遺族会では来る十二月十六日に全国戦没者遺族大会を開催し、あわせて国会陳情を計画している。

岡山県遺族連盟では、この日本遺族会の方針に基づき、英霊顕彰並びに処遇改善など各要望事項の周知とその完全実現を図るため、十一月二十八日(日)、岡山市中区古京町の岡山衛生会館において、遺族代表約七百名参集のもと岡山県戦没者遺族代表者大会を開催した。

挨拶する岸本県遺族連盟会長

平成二十二年度岡山県戦没者遺族代表者大会は定刻の午前十時三十分、服部剛司副会長、坂根弘子常任理事（女性部副部長）の司会により開会した。

近常寧副会長が開会を宣し、全員起立して国歌を斉唱。続いて護國のご英霊に感謝の黙祷を捧げた後、岸本清美会長が挨拶に立った。

岸本会長は「岡山県護國神社御創立百四十周年記念事業は、〝いさお会館〟の建て替えや〝参拝者待合所〟の設置など、皆様方のご協力をいただき境内の整備を行いました。特に、今月は七五三のお参りが沢山ありまして、これらの施設の利用が多くあったと聞いております。誠に有り難いことでございまして、この場をお借りし改めて皆様方にお礼を申し上げます。また、先の参議院選挙で私たちの同志であります水落敏栄議員を当選させていただき有り難うございました。

本日の大会には、党派を超えて地元選出の国会議員の諸先生方が沢山お見えであります。与党・民主党から津村啓介、柚木道義両先生、そして自民党からは逢沢一郎先生、阿部俊子先生、立ちあがれ日本から片山虎之助先生のご参加をいただいております。

私たち遺族は〝肉親が祀られています靖國神社へ国を代表する総理に一日も早く参拝していただきたい〟と、今日までお願いし続けて参りました。未だ国の軸足は定まっておりませんが、戦没者慰霊追悼の唯一の中心は靖國神社であります。靖國神社に代わる施設は命をかけても阻止する決意であります。今日はご英霊の声、私たち遺族の声を諸先生方にお聞きいただきたい。今、我が日本国が危ない。本当に心配です。戦後六十五年が経ちますが、遺族会はまだまだ健在です。一致結束して頑張りましょう」と挨拶を結んだ。

ご英霊と遺族の真情を各党議員に訴える

次いで、浅野實、平田晶三両副会長が議長に就任し、大会の宣言・決議案の採択を行った。

先ず、田原豊年常任理事が「誇りある祖国の姿を取り戻し、国民の安寧を図るべし」とする大会宣言案を、そして藤原茂夫常任理事が▽総理等の靖國神社参拝推進▽国立の追悼施設建設阻止▽遺族の処遇改善▽未帰還遺骨の早期収集▽児童・生徒の慰霊行事参加推進などの決議案を朗読、議長が両案を参加者に諮り、満場の拍手を持って宣言・決議案は採択された。(採択された宣言・決議は二頁に別掲)

次いでご来賓の挨拶に移り、石井岡山県知事の代理として佐々木健保健福祉部長、岡山県議会を代表して内山登副議長、地元選出国会議員諸先生、日本遺族会会長（高橋正徳常務理事・愛媛県遺族会副会長代読。水落敏栄参議院議員は、同日、香川県高松市で行われている会合に参加するため大会開会前に挨拶）から英霊顕彰と遺族援護に対する力強い支援のご挨拶をいただいた。

そして、祝電を披露した後、渡辺雅允常任理事の発声により、全員起立のもと万歳を三唱、続いて〝靖國神社の歌〟を合唱し、秀平良子副会長（女性部長）が閉会の言葉を述べ、午前十一時五十分、大会を終了した。

公私ともご多忙の中、大会にご臨席をいただいた来賓の皆様は次のとおりです。（順不同／敬称略）

▼岡山県知事
石井　正弘（代理）
▼岡山県議会副議長
内山　登
▼国会議員
＊自由民主党
逢沢　一郎
村田　吉隆（代理）
加藤　勝信（代理）
阿部　俊子
＊民主党
柚木　道義
津村　啓介
＊立ち上がれ日本
平沼　赳夫（代理）
片山虎之助
▼日本遺族会会長
古賀　誠（代理）

▼日本遺族会常任顧問
水落　敏栄
▼日本遺族会常務理事
高橋　正徳
▼岡山県遺族連盟顧問
（前衆議院議員）
橋本　岳（代理）
▼岡山県保健福祉部長
佐々木　健
▼岡山県護國神社宮司
湯浅　正敬（代理）

宣言

先の大戦の終結から六十五年目の夏、菅総理並びに閣僚は、春の例大祭に続いて「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日にも靖國神社に参拝しなかった。隣国への配慮を最優先し、戦没者慰霊追悼の中心である靖國神社に参拝しないことを申し合わせた現政権の姿勢に我々戦没者遺族の失望は深い。

長年続いた自民党政権時代から、靖國神社国家護持、総理の公式参拝、参拝の定着等々、その要望のハードルを下げながらも、国に尊い命を捧げた戦没者ご英霊に対する当然の義務の遂行を政府に求めてきたが、それでも国の軸足は定まることはなかった。

そして、昨年の衆議院選挙の結果、民主党に政権が代わり、鳩山内閣に続いて菅内閣が誕生したが、依然としてご英霊の心、戦没者遺族の願いは政府に届くことはなく、高圧的な隣国に対して卑屈なまでの態度に終始、靖國神社に代わる追悼施設の構想まで飛び出す始末である。

折しも、日本国領土である尖閣諸島で中国漁船衝突事件が勃発し、菅内閣の国家観・国防意識の欠如を露呈することとなったが、主権・領土・国民から成り立つ国家を放棄するが如く、国の誇りを貶める菅内閣の姿勢に心ある国民は落胆し、怒りの声が上がっている。

政府は、一刻も早く正常なる独立国家としての常識ある意志を明確に示し、ご英霊が望んだ誇りある祖国の姿を取り戻し、国民の安寧を図るべきである。

また、遺族処遇はあくまで国家補償の理念を堅持し、高齢化が進む遺族の生活の糧である公務扶助料等の改善をはじめ、未だ海外等に残されている百十万余のご遺骨の収集や、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の充実等々、国の責任として強く要望する。

加えて、先の大戦の記憶が風化する中、我が国の将来を担う子供たちに、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える機会となる様、戦没者慰霊追悼行事への児童・生徒の参列を推進する。

我々は、ここに岡山県戦没者遺族代表者大会を開催し、声なき戦没者ご英霊の願いを結実するため、組織の総力を結集してこれら懸案の解決に邁進する。

右宣言する。

平成二十二年十一月二十八日

岡山県戦没者遺族代表者大会

決議

本日ここに岡山県戦没者遺族代表者大会を開催し、総力をあげて左記各項の実現を期する。

記

一、戦没者慰霊追悼の中心である靖國神社への総理・閣僚等の参拝を推進すること。

一、国立の戦没者追悼施設建設構想を断固阻止すること。

一、国家補償の理念に基づき、戦没者遺族の処遇を改善すること。

一、未帰還戦没者ご遺骨の早期収集と慰霊友好親善事業を拡充強化すること。

一、戦没者慰霊追悼行事への児童・生徒の参列を推進すること。

右決議する。

平成二十二年十一月二十八日

岡山県戦没者遺族代表者大会

沖縄並びに南方諸地域
岡山県出身戦没者追悼式を挙行

岡山県遺族連盟では毎年、県補助事業により「岡山の塔」において沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式を執り行っているが、本年も十一月十二日から二泊三日の日程で沖縄県を訪問、岡山県並びに沖縄県関係各位の協力をいただいて厳粛盛大に戦没者追悼式を挙行、ご英霊の冥福をお祈りし世界恒久平和希求をお誓いした。

岡山県遺族連盟

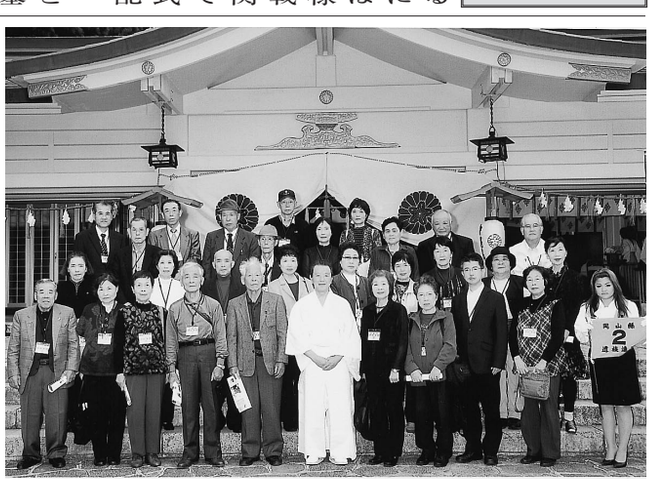
平成二十二年度沖縄戦跡慰霊巡拝事業は、岸本県遺族連盟会長をはじめ県下各地からご遺族五十七名が参加。岡山県議会を代表して内山登副議長、岡山県知事の名代として森晃朗県保健福祉部次長らのご同行をいただき、十一月十二日に岡山空港から沖縄へ。

到着後、苛烈を極めた沖縄戦で散華された全国の将兵をお祀りする沖縄県護國神社へ。伊藤宮司ら祭員のご奉仕をいただき正式参拝を行い、ご英霊の冥福と旅の安全をお祈りした。次いで旧海軍司令部壕を訪問、慰霊塔に参拝後、血の跡が残る司令部壕内を見学し将兵の平和祈念公園内にある沖縄県平和祈念資料館に到着するころには雨脚は益々強くなり、弱まる様子は一向にない。沖縄戦没者墓苑で行う沖縄県関係戦没者慰霊祭、そして「岡山の塔」での追悼式がどうなるのか一同心配顔になってくる。

戦没者ご英霊の涙雨と強風の中、沖縄戦没者墓苑で関係戦没者慰霊祭を執り行った。関係者の献花の後、全員で涙の〝ふるさと〟を合唱。そして団員は雨と風に煽られながら、「岡山の塔」前に張られた雨避けテントの中に入った。沖縄平和祈念財団のお手配に心から感謝する次第である。

岡山県知事、県議会議長、地元沖縄県からの花輪や供物などがお供えされた「岡山の塔」での追悼式は定刻の午前十時三十分に開式。先ず全員が起立して国歌斉唱、そして護國のご英霊に黙祷を捧げた。

続いて岸本会長が「先の大戦の終結から六十五



伊藤沖縄県護国神社宮司と共に

「岡山の塔」は、先の大戦の激戦地である沖縄地域で戦没された岡山県出身戦没者千五百七十八柱をお慰めするため、昭和四十一年十月に県民の浄財により沖縄戦終焉の地・沖縄本島南端の糸満市摩文仁の霊域に建立、後に南方諸地域で戦没された三万二千二百二十一柱もあわせて合祀されている。

いさお新聞　毎月十五日発行　（1148）

長年のご尽力に感謝致します

◎旭日小綬章

岡山県遺族連盟副会長
総社市遺族連合会会長
服部剛司氏

◎厚生労働大臣表彰

岡山県遺族連盟常任理事
倉敷市倉敷遺族連合会会長
吉岡昇氏

このたび秋の叙勲並びに厚生労働大臣表彰の受賞者が発表され、本会の服部剛司副会長が旭日小綬章、吉岡昇常任理事が厚生労働大臣表彰の栄誉を受けられました。

会員一同、長年のご尽力に感謝申し上げますと共に、今後とも更なるお力添えを賜ります様お願い申し上げます。

追悼の言葉

津山市上横野
鎌徳　豊

父上、息子の豊です。

このたび政府並びに関係団体のお世話になり、この地に来ることが出来ました。

私がこの世に生を受けた時には、父はすでに戦地に行かれており、私の顔は見ておられず、写真を送ったにも関わらず、写真が届いたのか届かなかったのか何の連絡もなく、その後届いたのは戦死の二文字であったそうであります。従って父のことは何一つ記憶にありません。唯ひとつ、「お前の父・吉夫は本当によく働く、人の好い人で、出征の前日まで田を耕していた」と、皆様から聞いたことだけであります。

私は家族や親族のお陰で何不自由なく育ち、三人の子供と十九歳を頭に十人の孫にも恵まれ、充実した生活をしておりますので安心して下さい。唯、残念なのは母が五十五歳の若さで癌のため亡くなったことであります。

戦争も終わり、早や六十五年が経ち、日本も大きく変わり昔の面影は全く無くなりましたが、我が家の地区も同じで、住所も津山市となり、今では人口も十一万人を超す市になりました。当然、道路も農地も整備され、農業も全て機械化になりました。水も蛇口をひねればすぐ出る水道になり、父がいた当時から思えばおとぎの国に来ているようであります。

戦後六十五年も経てば戦争という二文字も忘れがちでありますが、全世界がこの二文字を忘れる日が一日も早く来ることを望むところであります。

我々の住む高田地区も毎年、戦没者の慰霊祭を開催し、戦死者の御霊をお慰めして戦争のない平和な日が一日も早く来るようにと願っているところであります。今年も十月三十一日に慰霊祭が開催されております。

私も早六十八歳、もうこの地を訪れることはまた千余の国内外の軍民すべての名前を刻んだ〝平和の礎〟に参拝し、摩文仁を後にした。

雨は依然として降り続き益々強くなる一方である。移設問題で心配されている普天間飛行場を近隣の高台から見学する予定であったが、とても見学できる状況とならず、次の観光地もキャンセルすることとなった。

しかし、巡拝最終日は漸く天候も回復、南国沖縄らしい青空と海を見ながら恩納海岸の万座毛の散策や、米軍の嘉手納基地全体を望む〝道の駅かでな〟などを見学し、巡拝の日程を終了。天候不順であったが落伍者もなく、夕刻、全員無事帰岡した。

このたびの追悼式並びに慰霊巡拝に際し、ご協力をいただきました巡拝団員の皆様方をはじめ、岡山県並びに沖縄県当局関係者各位の温かいご配意にあらためて心から感謝申し上げます。

涙雨の追悼式を終えて

全戦没者追悼式に臨んだ鎌徳さん／後列左
（11月5日：ガダルカナル島戦没者の碑）

ず出来ないと思います。これからは健康には十分気を付け、家族親族、そして地域のために頑張っていきたいと思っておりますので、天国から見守っていただきますようお願いし、追悼の言葉といたします。

―あとがき―

十月三十日から十一月六日の日程で行われましたソロモン諸島地域慰霊友好親善事業に参加し、ソロモン群島で戦没した父に追悼の言葉を捧げることができました。お陰で一生忘れることのできない慰霊追悼と友好親善の旅となりました。

現地に行き、戦争の跡地や残骸を見て、戦争の悲惨さを改めて痛感いたしました。今でも厳しい環境なのに六十数年も前には、どの様な状況であったのか想像もつきません。国の命令とは云え本当にひどい話であります。

今現在も世界のあちこちで争いが行われていますが、一日も早く戦争という二文字が無くなることを切望いたします。

去る十二月一日、岡山市上道遺族連合会（徳田伸会長）の皆様が岡山県護國神社境内の清掃作業を行いました。

当日は月初めにあたり、神社で執り行われた月始祭に参列し、ご英霊に感謝の誠を捧げ御加護を祈念申し上げて作業に取り掛かりました。

境内照明を充実／奉納大絵馬
皆様ご一緒にご参列下さい

１月１日　午前零時　歳旦祭
１月３日　午前九時　元始祭

国家安泰・家内安全・厄災消除・社業繁栄・交通安全など
諸祈願、諸祈祷は随時受付けています。

岡山県護國神社
岡山市中区奥市３－21 電話(086)272-3017

清掃に参加された岡山市上道遺族連合会の皆さん

遺族会の動き

平成二十二年十一月行事表

3日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
5日　橋本岳再起動の集い（倉敷アイビースクエア）
8日　新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
10日　倉敷市倉敷遺族連合会研修旅行（和歌山県方面）一泊
11日　新見市遺族連合会靖國神社参拝（茨城・栃木県方面）二泊
12日　瀬戸内市戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
13日　「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝（沖縄県）二泊
15日　加賀郡吉備中央町芳川地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
16日　浅口市金光支部遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
20日　井原市遺族連合会研修会（真備町・マービーふれあいC）
　　加賀郡吉備中央町加茂川地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　三重県遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
　　笠岡市白石島地区戦没者慰霊祭（開龍寺）
22日　浅口市郡遺族連合会女性部研修会（鴨方町内）
23日　新穀感謝祭（県護國神社）
24日　笠岡市大島地区戦没者慰霊祭（寄島町・龍城院）
27日　加賀郡吉備中央町大和地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）
　　笠岡市今井地区戦没者慰霊祭（今井公民館）

平成二十二年十二月行事表

1日　岡山市西大寺雄神地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　厚生労働大臣表彰受賞式（厚生労働省）
2日　厚生労働大臣表彰受賞祝賀会（九段会館）
4日　真庭市八束地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
15日　岡山市御津遺族会靖國神社参拝（東京方面）二泊
　　尾辻議員参議院副議長就任並びに水落議員当選祝賀会（九段会館）
16日　全国戦没者遺族大会・国会陳情（九段会館ホール）
21日　県連盟会計監査（県連盟事務所）
28日　御用納め

平成二十三年一月行事表

1日　歳旦祭（県護國神社）
3日　元始祭（県護國神社）
5日　逢沢一郎「年始会」（Hグランヴィア岡山）
8日　石井正弘新年祝賀会（岡山プラザH）
24日　県連盟主催外国地域戦跡慰霊巡拝（パラオ諸島）四泊五日

パラオ諸島慰霊巡拝 申込締切が迫っています

本紙十一月号に掲載し参加者の募集を行っています県連盟主催パラオ諸島戦跡慰霊巡拝の申込締切日が迫っています。

この慰霊の旅は、現地の各戦跡地を巡り関係戦没者の慰霊祭を行うと共に、政府が建立した慰霊碑において南方諸地域全戦没者追悼式を執り行います。

現在、定員に若干の余裕がありますので、参加ご希望の方はお早めに県遺族連盟までお申し込み下さい。